社会福祉学科 １年前期 総合科目

１．福祉の人間学

２．地域つくりかえ学

３．生涯スポーツ実技

４．日本語表現技法

５．English Base

６．基礎日本語

７．ICT ベーシック

社会福祉学科　　1年

科目名: 福祉の人間学				担当教員 氏名: 宮嶋 潔、社会福祉学科教員	
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	前期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	各教員の自分に影響を与えた人物や学生に知ってほしい人物について実務経験をもとに授業する。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
「人間性に対する深い洞察を養い、福祉の意味をたずね、それによって人間への愛情と社会を見る目が育てられる。」(阿部志郎) これがこの授業の目的です。互いに支え合い共感し合う人間理解を深めたいものです。自己を見つめ、人間を理解し、各自がそれぞれの「人間観」を確立するのを援助する。					・人間理解 ・人権(擁護) ・倫理綱領 ・「福祉は人なり」	

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．2．4．5．6．10
A 知識・理解力	人間性の理解を深める。福祉と人権獲得に貢献した先輩の努力を知る。
G 倫理観	福祉専門職の倫理綱領を理解し、確信を持って人権を擁護するために倫理的に行動できる。
H コミュニケーション力	感じたことや考察したことを自分の言葉で分かりやすく表現・記述できる。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: 90 %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %

特記事項:

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期: 毎回、意見、感想を書いてもらいます。レポート試験を実施します。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 評価をつけて返却します。

授 業 計 画		準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①オリエンテーション(全担当教員)	【全員】(4/14)	以下の福祉分野で活躍した人をまとめる	60
②「5つの顔をもつ」ナイチンゲール	【宮城】(4/21)	ナイチンゲール	60
③「福祉の心」マザーテレサ	【宮城】(4/28)	マザーテレサ	60
④「富山型デイサービスの歩み」惣万佳代子ほか	【鷹西】(5/12)	惣万佳代子	60
⑤「社会福祉の父と呼ばれる、戦後の障害者福祉の先駆者」 糸賀一雄	【鷹西】(5/19)	糸賀一雄	60
⑥未定	【中島】(5/26)		60
⑦未定	【中島】(6/2)		60
⑧「人間の成長力を信じぬく」 カール・ロジャース	【竹ノ山】(6/9)	カール・ロジャース	60
⑨「アイデンティティとライフサイクル」 E. H. エリクソン	【竹ノ山】(6/16)	E. H. エリクソン	60
⑩社会変革を目指したジェーン・アダムス	【松尾】(6/23)	ジェーン・アダムス	60
⑪「自由に結婚できるようになった背景を学ぶ」 ベアテ・ゴードン	【松尾】(6/30)	ベアテ・ゴードン	60
⑫「ノーマライゼーションの父」 バンク・ミケルセン	【宮嶋】(7/7)	バンク・ミケルセン	60
⑬「ソーシャルケースワークの母」メアリー・リッチモンド	【宮嶋】(7/14)	メアリー・リッチモンド	60
⑭「障害者の教育・福祉の発展に尽くした」ヘレン・ケラー	【長井】(7/21)	ヘレン・ケラー	60
⑮「世界人権宣言をつくった女性たち」エレノア・ルーズベルトとハンサ・メーター	【長井】(7/28)	エレノア・ルーズベルトとハンサ・メーター	60

使用テキスト: テキストはありません。必要な資料は、授業時に配布します。	その他参考文献など: 授業中に随時紹介します。

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):「福祉は人なり」との言葉の意味を噛みしめてください。
福祉に「命」を吹き込むのはあなたです。共感と思いやりをもって、人を理解し援助できるようになることを期待します。

社会福祉学科　　1年

科目名：　地域つくりかえ学			担当教員　氏名：	とりまとめ：宮城（社会福祉学科）、岡野（幼児教育学科）、米山（看護学科）	
単　位	開講時期（年次・期）	科目の区分	授業方法	（卒業要件）必修／選択	備考
1	1年次　前期	総合科目	講義	必修	

実務経験を用いてどのような授業を行っているか：

授業科目の学習教育目標の概要：	キーワード
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」（地域社会）に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。	教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行

授業における学修の到達目標

学習教育目標（卒業認定・学位授与の方針との関連）	自己形成を進める行動目標（福短マトリックスで示される番号）　1．2．3．4．5．7．8．10．
D　問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。
E　自己管理力	地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。
G　倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
F　チームワーク・リーダーシップ	【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。
C　論理的思考力	【生涯学習力】自ら設定した目標（『私』宣言）に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。

成績評価の方法・基準：　以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト：　%	レポート：　40 %	発表：　20 %	実技試験：　%	その他：　40 %

特記事項：「つくりかえレポート」と年間の「週フォリオ」を含めた様々な問題への取り組み状況によって評価する。各AD教員が、AD学生の評価にあたる。「つくりかえレポート」100点満点＋「週フォリオ」100点満点評価＋「自分づくりをすすめる意欲・態度」100点満点評価の合計を3で割った平均を評価点とする。
本科目は、アクティブラーニングの一環として、前期中にボランティア活動を各学生1回以上行い、後期の「富山コミュニティ論」にて活動発表を行う。
また闘病記文庫感想文コンクールへの参加を通して、支援を必要とする方への共感性やコミュニケーション能力を養う。

アクティブラーニング要素：
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：「つくりかえレポート」は第7回に課す。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：適宜AD面談等を行い、返却する。

授　業　計　画		準備学習（予習・復習等） 学習内容	学習に必要な時間（分）
①【泉学長】富山福祉短期大学で学ぶ意義	4/16 (2-201)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
②【宮嶋】ボランティア活動で自分発見、きときとコミュニティ・サポーターとしての社会貢献	4/23 (2-201)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
③【宮城、岡野、米山】フォトロゲイニング“ふくたんを探検“	4/30 (Uホール)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
④【竹ノ山】学修可視化ツール：ふくたんICEマトリックス、週フォリオ	5/7 (2-201)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑤【泉学長】アカデミックスキルズ①　レポートの書き方	5/14 (2-201)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑥【長谷川】アカデミックスキルズ②　主体的な学びの実践	5/21 (2-201)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑦【松尾】アカデミックスキルズ③　地域課題発見力とは	5/28 (2-201)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑧【石津】アカデミックスキルズ④　協働力向上：グループワークの極意	A:6/3(2-201) B:6/10(2-201)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑨【宮越】アカデミックスキルズ⑤　コーチング	B:6/4(5-101) A:6/11(5-101)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑩【高橋】アカデミックスキルズ⑥　効果的なプレゼンテーション	6/18 (2-201)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑪【特別講義】初年度教育「職業観と働く心構え」高岡地域若者サポートステーション	7/16 (3-201)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑫【学科教員】チームビルディング①	7/23　1限 (Uホール)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑬【学科教員】チームビルディング②	7/23　2限 (Uホール)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑭【学科教員】グループワーク①	7/23　3限 (Uホール)	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑮【学科教員】チームワーク②	7/23　4限 (Uホール)	【復習】学習振り返り、レポート	60分

使用テキスト：	その他参考文献など：

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：
本学で大切にしている学びの基礎とあり方を追求する。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。

社会福祉学科

科目名： 生涯スポーツ実技			担当教員 氏名： 泉 敏郎			
単 位	開講時期（年次・期）		科目の区分	授業方法	（卒業要件）必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：	健康運動指導士として、健康づくりの指導をしていたことから、実践から継続につなげるための意欲の向上について重点的に指導するようにしている					

授業科目の学習教育目標の概要：	キーワード
生涯を通じ体を動かすための知識と技術を習得する。また、集団で活動することでコミュニケーション能力の構築も実践する	・生涯スポーツ ・コミュニケーション ・体験学習

授業における学修の到達目標

学習教育目標（卒業認定・学位授与の方針との関連）	自己形成を進める行動目標（福短マトリックスで示される番号） 1．2．5．6．7．8．9．10
A 知識・理解力	生涯スポーツに必要な知識について理解する
D 問題解決力	様々な状況に応じて各人が判断する能力を高める
F チームワーク・リーダーシップ	チームメイトと協力して実技を行う

成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト： %	レポート： %	発表： %	実技試験： 50 %	その他： 50 %

特記事項：

アクティブラーニング要素：
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期：
集中講義への参加必須

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：

授 業 計 画	準備学習（予習・復習等） 学習内容	学習に必要な時間（分）
①オリエンテーション・コミュニケーションゲーム	復習：自らのスポーツ歴について理解する	15分
②体力測定	復習：体力向上ための目標設定	15分
③球技（ビーチボール基本練習）	予習：ビーボールのルールを理解する	15分
④球技（ビーチボールリーグ戦）	復習：ボールゲームの実践	15分
⑤球技（ビーチボールリーグ戦）	復習：ボールゲームの実践	15分
⑥軽登山	復習：歩き方について考える	15分
⑦軽登山	復習：軽登山中の身体の変化を考える	15分
⑧軽登山	復習：スポーツ実践の効果を考える	15分

使用テキスト： 特になし。	その他参考文献など：運動とスポーツの生理学

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：
・実技の時は、アクセサリーを外し、動きやすい服装で参加すること。
・1泊2日の集中講義（夏休み期間）での実施になります。場所：山野スポーツセンター　費用：6,000円程度

社会福祉学科

科目名: 日本語表現技法				担当教員 氏名: 宮城 信		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	中高教員の経験を活かして、表現法の教え方(伝え方)についての実践的な授業を実施する。					

授業科目の学修教育目標の概要:	キーワード
言葉で表現することは、自己の思考や思想を表現することである。文章や会話を通して自己のありようが現れることから、適切に伝えるための日本語表現の基礎・基本を学ぶとともに、他者との関係を豊かにする自己表現のための技術や態度を養う。	表現、文章の書き方、 コミュニケーション、討議法

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．2．3．5．7
A 知識・理解力	知識を体系的化し理解できる。
B 専門的技術	日本語を使った自己実現に活用できる。
E 自己管理力	自らを律して表現活動ができる。
H コミュニケーション力	言語や身体を用いて自己・他者の正しい理解を深めることができる。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 50 %	レポート: 20 %	発表: 15 %	実技試験: %	その他: 15 %

特記事項:
・上記「その他」には、小テスト・授業中の話合い活動への積極的な参加状況の評価が含まれる。
・授業の課題として、3回程度のレポートを課す。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学修　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:適宜小課題を課す。最終試験は定められた日時に行う。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:課題に対してコメントする。課題・評価に関する質問を随時受け付ける。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)	
	学習内容	学習に必要な時間(分)
①ガイダンス「「日本語」で考える～伝わるとはどういうことか」	【復習】授業内容の確認及び課題	【復習】120分
②文章表現法(1)文章を書くときの発想と語彙	【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分
③文章表現法(2)表現の型・文章構成の型	【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分
④文章表現法(3)説明する文章の書き方	【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分
⑤文章表現法(4)主張する文章の書き方	【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分
⑥ディベート演習(1)ディベートの基礎・討論ゲーム	【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分
⑦ディベート演習(2)論理的思考・批判的思考・論の立て方	【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分
⑧ミニミニディベート／学修のまとめ	【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分

使用テキスト: ・特定のテキストは指定しない。(※毎時間プリント等を配布する) ・必要に応じて資料を配付する。	その他参考文献など: なし

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):
・毎時間話合い活動を行うので、積極的に参加すること。
・課題には真剣に取り組み、提出期限を遵守すること。

社会福祉学科

科目名：	English Base			担当教員　氏名：	リュウ　エドワード	
単　位	開講時期（年次・期）		科目の区分	授業方法	（卒業要件）必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	

実務経験を用いてどのような授業を行っているか：	A native Japanese and native English speaker will implement interactive classes to use and develop basic understanding of English as L2 with language and contextual support in student's L1.

授業科目の学修教育目標の概要：	キーワード
The objective of this core English course is to develop functional ability and core understandings in the English language, with a focus on leveraging technologies for language access. The course covers essential skills such as grammar, vocabulary, listening, and discussion. The syllabus is tailored to enhance students' capacity to communicate in English across various everyday scenarios and practical applications, incorporating technology as a key tool in this process. Furthermore, the course seeks to cultivate an appreciation for the cultural nuances of the English language.	Basic English Communication Skills Basic Grammar Skills Technology Integration in Language Learning

授業における学修の到達目標

学修教育目標（卒業認定・学位授与の方針との関連）	自己形成を進める行動目標（福短マトリックスで示される番号）　1．3．4．5．8
A　知識・理解力	Knowledge of core English concepts will allow students to make statements about themselves, recall events and express intentionality.
F　チームワーク・リーダーシップ	Small groups are integral in facilitating understanding, expressing personal perspectives on select topics, and reflecting on subject-specific content .
H　コミュニケーション力	Communicating clearly is important whether you are communicating with your boss, a colleague, a teacher, or a friend. In language learning unclear, vague communication can lead to misunderstandings. This course will address contextually appropriate tone and register for communication.

成績評価の方法・基準：　以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト：　50　%	レポート：　　%	発表：　20　%	実技試験：　　%	その他：　30　%

特記事項：Studying a language often at regular intervals helps to overcome the forgetting curve by revising and recycling the language. Students should keep the language material fresh in their mind by attending classes regularly, completing assignments and undertaking independent study.

アクティブラーニング要素：
課題解決型学修　　ディスカッション、ディベート　　グループワーク　　プレゼンテーション　　実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：
テストを行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：
テストとインタビューのフィードバックは、個別に指導する。

授　業　計　画	準備学修（予習・復習等） 学修内容	学修に必要な時間（分）
①Unit 1: Talking about yourself, Unit 2: Talking about routines, Unit 3: Today I'm wearing...	対象Unitの予習・復習	90分
② Unit 4: What's happening?, Unit 5: Types of verbs, Unit 6: Vocabulary	対象Unitの予習・復習	90分
③Unit 7: How are you feeling?, Unit 8: Vocabulary, Unit 9: Routines and exceptions	対象Unitの予習・復習	90分
④ Unit 10: Vocabulary, Unit 11: What's the matter?, Unit 12, Vocabulary	対象Unitの予習・復習	90分
⑤ Unit 13: What's the weather like? Unit 14: Vocabulary, Unit 15: Making comparisons	対象Unitの予習・復習	90分
⑥ Unit 16: Talking about extremes, Unit 17: Vocabulary, Unit 18: Making choices	対象Unitの予習・復習	90分
⑦ Unit 19: Using large numbers, Unit 20: Vocabulary, Unit 21: Talking about dates	対象Unitの予習・復習	90分
⑧ Review	全体の復習	90分
⑨ Unit 22: Talking about the past, Unit 23: Past events, Unit 24: Past abilities	対象Unitの予習・復習	90分
⑩ Unit 25: Vocabulary, Unit 26: Irregular past verbs, Unit 27: Vocabulary	対象Unitの予習・復習	90分
⑪ Unit 28: Telling a story, Unit 29: Asking about the past, Unit 30: Applying for a job	対象Unitの予習・復習	90分
⑫ Unit 31: Types of questions, Unit 32: Someone, anyone, everyone, Unit 33: Making conversation	対象Unitの予習・復習	90分
⑬ Unit 34: Vocabulary, Unit 36: Plans and intentions, Unit 37: What's going to happen	対象Unitの予習・復習	90分
⑭ Unit 38: Vocabulary, Unit 39: Making predictions, Unit 40: Making quick decisions	対象Unitの予習・復習	90分
⑮ Final Review	全体の復習	90分

使用テキスト：	その他参考文献など：
	・English for Everyone: Level 2: Beginner, Practice Book: A Complete Self-Study Program ・English for Everyone: English Grammar Guide: A Comprehensive Visual Reference ・English for Everyone Grammar Guide Practice Book

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：Making mistakes and expressing yourself is the best way to discover and explore language. Keep up the hard work and let's not only learn about English but also about each other!

社会福祉学科

科目名：	基礎日本語	担当教員　氏名：	林　宏美

単　位	開講時期（年次・期）		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	

実務経験を用いてどのような授業を行っているか：	日本語教師として、介護施設・病院等で就労している外国人介護・看護職員に対する学修指導の実務経験を活かし、介護現場で必要なコミュニケーション力や日本語を教授する。

授業科目の学修教育目標の概要：	キーワード
基本的な日本語を駆使し、介護施設の職員として職場で必要とされる声かけとコミュニケーションを適切に行えること、および、日本での生活習慣、人間関係への適応能力を身につけることを目指す。	声かけとコミュニケーションの日本語、文法表現、介護に関する基本語彙と漢字の練習

授業における学修の到達目標

学習教育目標 （卒業認定・学位授与の方針との関連）	自己形成を進める行動目標 （福短マトリックスで示される番号）　1．2．5．7．8．10
A　知識・理解力	介護場面で必要とされる基本的な行動を知る。介護に関する語彙表現を増やす。
C　論理的思考力	文体や語彙表現の使い分けを理解し、現場の状況や出来事を報告できる能力を身につける。
G　倫理観	利用者や家族の心情を理解し、各テーマについて話し合うことにより、介護に携わる者としての倫理観を身につける。
H　コミュニケーション力	効果的なコミュニケーションを行うための会話技術を習得する。

成績評価の方法・基準：　以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト：	40	%	レポート：		%	発表：	30	%	実技試験：		%	その他：	30	%

特記事項：
・上記「その他」においては、授業中の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。・本科目では、アクティブ・ラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。

アクティブラーニング要素：

課題解決型学習	ディスカッション、ディベート	グループワーク	プレゼンテーション	実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期：適宜小テスト、発表を行い、最終回に総まとめテストを実施する。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：適宜小テストを行い、採点し返却する。会話については、発表時にフィートバックし、評価する。

授　業　計　画	準備学習（予習・復習等）	
	学習内容	学習に必要な時間（分）
①法律・制度　利用者とのコミュニケーション　声かけ　あいづち　質問（1）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
②法律・制度　利用者とのコミュニケーション　声かけ　あいづち　質問（2）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
③法律・制度　利用者とのコミュニケーション　声かけ　あいづち　質問（3）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
④高齢者にみられる主な病気・症状　利用者とのコミュニケーション　声かけ　あいづち　質問（4）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑤高齢者にみられる主な病気・症状　職員とのコミュニケーション　申し送り（1）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑥高齢者にみられる主な病気・症状　職員とのコミュニケーション　申し送り（2）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑦高齢者にみられる主な病気・症状　職員とのコミュニケーション　申し送り（3）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑧高齢者にみられる主な病気・症状　職員とのコミュニケーション　記録（1）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑨高齢者にみられる主な病気・症状　職員とのコミュニケーション　記録（2）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑩業務で必要な知識　職員とのコミュニケーション　記録（3）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑪業務で必要な知識　家族とのコミュニケーション（1）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑫業務で必要な知識　家族とのコミュニケーション（2）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑬業務で必要な知識　介護現場で使う表現　オノマトペ（1）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑭業務で必要な知識　介護現場で使う表現　オノマトペ（2）	【予習】語彙リストを読む、言葉を調べる 【復習】言葉や会話表現を覚える、練習プリント	【予習】20分 【復習】40分
⑮業務で必要な知識　介護現場で使う表現　オノマトペ（3）	【予習】全体の復習をする	【予習】60分

使用テキスト：『はじめて学ぶ介護の日本語　生活知識とコミュニケーション』著者　三橋麻子　丸山真貴子　堀内貴子　鈴木健司　発行スリーエーネットワーク　ISBN978-4-88319-847-4 『はじめて学ぶ介護の日本語　基本の知識』著者　三橋麻子　丸山真貴子　発行スリーエーネットワーク　ISBN978-4-88319-793-4	その他参考文献など：　5か国語でわかる介護用語集（ミネルヴァ書房）　英語・中国語・インドネシア語・ベトナム語・日本語

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：
会話の発表は積極的に取り組んでください。その取り組みの姿勢や授業態度を評価します。

社会福祉学科

科目名: ICTベーシック				担当教員 氏名: 浦城 尚武		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	情報系専門学校常勤教員の経験を生かし、情報リテラシー教育の授業を行う。					

授業科目の学修教育目標の概要:	キーワード
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテ等をはじめとして急速に情報化が進んでいる。どの現場においても情報の基礎知識は必須能力である。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基本的な活用能力を演習をとおして修得する。	コンピュータ、ネットワーク、 ソフトウェア、ワード、パワーポイント、 情報セキュリティ

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．2．8
A 知識・理解力	・コンピュータ、ネットワークの基礎知識、情報リテラシーを理解する。 ・Windowsの基礎知識を学習する。
D 問題解決力	・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft Power Point」の基本操作を修得する。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: %	レポート: 50 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 30 %

特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。
・授業外の予習・復習が不可欠であり、アクティブ・ラーニングとして、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学修 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク) (プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:授業中後半に毎回課題演習を行う。またグループワークによる成果物を数回提出する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。またグループワークによる成果物については、グループでの関わり方の結果を伝える。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等)	
	学習内容	学習に必要な時間(分)
① 情報化社会の現状とセキュリティの基礎知識の理解	情報化社会の現状と課題について調べる	【予習】30分 【復習】30分
② ビジネスメールの作成とマナーの理解	ビジネスシーンとメールの活用	【予習】30分 【復習】30分
③ Wordによる文書作成(基本的な機能)の習得	Wordの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分
④ Wordによる文書作成(実用的な機能)の習得	Wordの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分
⑤ グループによるドキュメント制作	GoogleWorkspaceのアプリ「ドキュメント」の活用	【予習】30分 【復習】30分
⑥ プレゼンテーション技法とPowerpointによるスライド作成(基本的な機能)の習得	PowerPointの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分
⑦ Powerpointによるスライド作成(表、グラフの挿入、アニメーションの活用)	PowerPointの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分
⑧ グループワークによる発表スライドの制作	GoogleWorkspaceのアプリ「スライド」の活用	【予習】30分 【復習】30分

使用テキスト:	その他参考文献など:
イチからしっかり学ぶ！ Office基礎と情報モラル Microsoft365・Officeバージョンフリー 【NESS付】ISBN:978-4-911200-06-3 noa出版	

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習をすること。グループでドキュメント制作をするので、チームワークのスキルを磨くこと。